『団結力』こそ、くわなの消防力。

2020.March【Vol.42】

桑名市消防団広報

Kuwana-City Fire Volunteer Corps Public Relations

INDEX

2頁__桑名市消防出初式
3頁__フォト記
4頁__今後のお知らせ
5頁__「火の用心…何に用心？」

＼6頁は女性消防団の活動報告です！／

桑名市消防団広報バックナンバーは
桑名市HPでもご覧いただけます。

スマホは
コチラから

編集・発行／桑名市消防団 情報部会　桑名市大字江場七番地

【2019年度 全国統一防火標語】ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

出初式

令和二年一月十二日

中久木消防団長を先頭に分列行進を行いました。

式典では、功績のあった方に表彰が行われました。

子どもたちも消防車に乗り参加しました。

長良川河川敷で一斉放水をしました。

鈴木英敬三重県知事より、前消防団長柴田清勝氏に感謝状が贈呈されました。

フォト記

七月二十一日　桑名方面団西部大隊が避難所運営ゲームHUG（ハグ）を西分署で実施。

十月三日　桑名方面団第三分団が出前授業を立教小学校で実施。

十月六日　桑名方面団北部大隊が放水訓練を西分署で実施。

十一月三日　長島方面団が安全走行訓練を長島総合自動車学校で実施。

十一月十日　桑名方面団南部大隊が中継送水訓練を西分署で実施。

十一月十日　多度方面団が秋季競練会・防火パレードを実施。

十一月二十四日　桑名方面団が規律訓練を立教小学校校庭で実施。

十二月二十八日　年末警戒市長巡視を市内五カ所で実施。

十二月三十一日　大晦日、かがり火の警戒も実施。

令和二年一月二十一日　文化財防火デーの訓練を六華苑で実施。

今後の予定

三月　長島方面団競練会
桑名方面団春季訓練
三重県消防大会
四月　多度方面団規律・水防訓練
新入団員教養訓練
五月　桑名市水防訓練
七月　三重県消防操法大会

◆三重県消防操法大会の出場に向けて

鈴鹿市に在る三重県消防学校に於いて、三重県消防操法大会に桑名市の代表として長島方面団の第一分団と第二分団（中部地区）の合同チームが出場します。

開催日は七月五日（日）、出場は県内から十二チームが参加します。

大会は、小型ポンプ操法とポンプ車操法の二種目が有りますが、今回出場するのは小型ポンプ操法です。

前回の大会では、ポンプ車操法の部で桑名市消防団（桑名方面団 第五分団）が優勝し、三重県の代表として全国大会へ出場しました。

今回もその良い流れを受け継ぎ、全国大会出場への切符を勝ち取る為に団員が一丸となって全力で練習に取り組みます。

その成果が発揮出来るよう皆様の温かいご声援とご支援をよろしくお願いします。

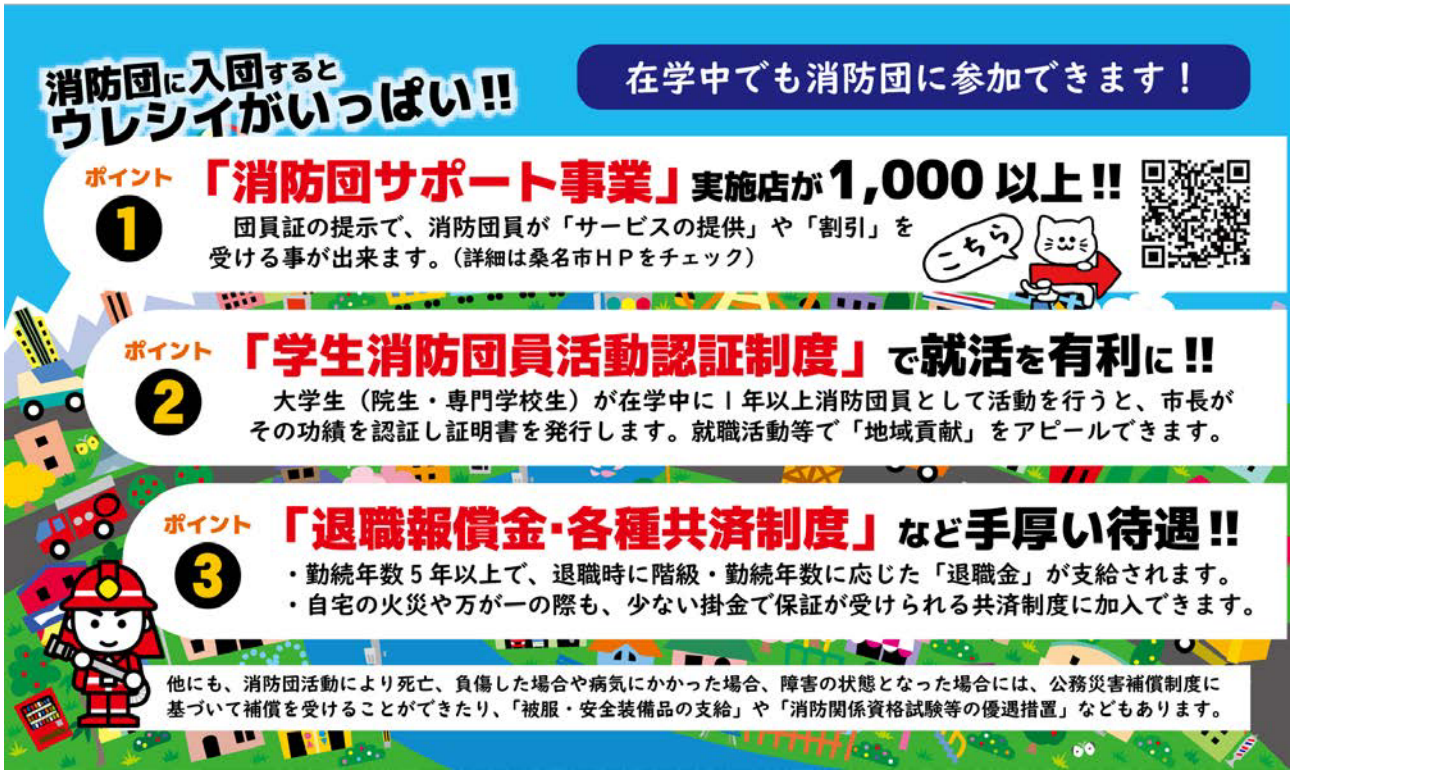
◆災害出場報告

平成三十一年一月一日から令和元年十二月三十一日まで市内で火災、水害での出場は

桑名方面団　三十四件　三百三十一名
多度方面団　六件　五十七名
長島方面団　六件　七十五名

でした。

活動にご協力・ご理解いただき有難うございました。

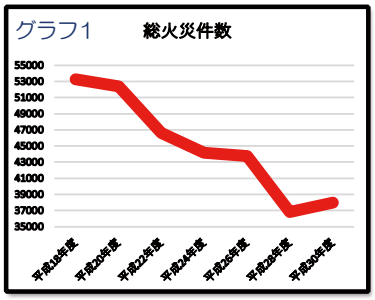


◇◇◇◇　火の用心・・・何に用心？　◇◇◇◇

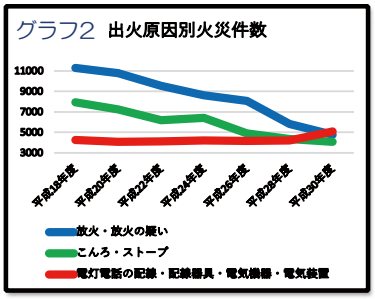
子どもたちが描いた防火ポスターを見かけました。
「**ひとつずつ　いいね！で確認　火の用心**」全国統一防火標語を織り込んだ、個性あふれるポスターが並んでいましたが、小さな違和感を感じました。「火」として、ガスこんろや石油ストーブを描く子どもが多いようですが、実際の出火原因はどうなっているのでしょうか？

どんな原因で火事が起きているんでしょう？

消防庁の消防統計で、平成18～30年度の日本全国の火災件数の変化を調べてみました。「最近、火事は減ったなぁ」と感じていたのですが、それを裏付けるように、全国的に**火災件数は年々減ってきている**ようです。（グラフ1）

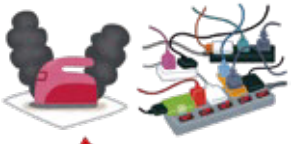


次に、出火原因について調べてみました。
ほとんどの年の出火原因のトップは、「放火」でした。
「放火の疑い」も含めると全体の二割ほどが「放火」だったようです。（グラフ2の青い線）
しかし、放火も減少傾向にあり、上位の常連である「こんろ」や「ストーブ」も火災件数自体の減少に合わせるように減ってきています。（グラフ2の緑の線）
そんな中で、毎年の件数がほとんど変わらず、全体の減少を考えるとむしろ**増えてきているのが「電気火災」**です。統計ではいくつかの項目に分かれているのですが、電気関係が原因となっている火災を「電気火災」としてまとめると、平成30年には「放火」や「こんろ・ストーブ」をも逆転してしまうのです。（グラフ2の赤い線）



電気火災はどうして起きるの？

なぜ、電気火災は減らないのでしょう？
電気製品がどんどん増えているのも原因の一つですが、炎が見えないために、**電気を「安全なもの」と勘違い**して安心しているのではないでしょうか？



電気火災の例
- 電気ストーブの上に干していた洗濯物が落ちて燃えた
- アイロンをコードにつないだまま放置して、衣類が焦げた
- 電源コンセントに埃がたまり、トラッキング現象で発火した
- タコ足配線をして電線に大量の電流が流れて発熱し発火した
- 古い扇風機のモーターから発火してカーテンに燃え移った

電気火災は「間違った使い方」や「ちょっとした不注意」から発生しているのがわかります。つまり、**正しく使えば火事は防げる**ということですね。

ひとつずつ　いいね！で確認　火の用心

ガスや石油などが危険な事に変わりはありませんが、電気にも火災の危険があるという事を忘れずに、正しい使い方と、安全確認を心がけましょう。

参考資料：総務省消防庁「消防統計」、東京消防庁「電気火災の実態」「電気火災って知っていますか？」

桑名市女性消防団

2020年春

女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。
桑名市女性消防団　検索　←検索するか　　QRコードで→

テレビ取材で活動を紹介しました

三重テレビさんで、桑名市消防団特集番組を制作していただくことになり、女性消防団の日々の活動を紹介しました。

出初式で団員3名が表彰されました

優良消防団員　後藤分団長

団員の結束を深め活動に誇りを持てる団作りに努力してきました。
今後も女性の力を防災減災に活かしていきたいと思います。

20年表彰　服部部長

あっという間の20年でした。
これからも今まで同様誠意を持って消防団活動に携わっていこうと思います。

10年表彰　金子団員

消防団員としての10年間に感謝しています。
今後も微力ながら自分に出来る範囲で活動していこうと思います。

地域のために女性の優しさ・細やかさを活かして、
一緒に活動しましょう！　団員を募集しています。
くわしくは→　桑名市消防本部　総務課　TEL24-5274